

社会背景・環境，今後の見通し及び重点課題について

- ・ 健康・福祉・安心の分野において重視すべき社会背景や環境，今後の見通し等を検討するため，環境分析（「SWOT〔強み・弱み・機会（追い風）・脅威（向かい風）〕分析」）を実施した。
- ・ これを踏まえて，分野における重点課題を検討した。

1 保健・医療サービスの質に関すること

〔環境分析1〕（主なもの）

- 基本健康診査の結果では，治療を必要とする市民の割合が増加しているが，受診率が伸び悩んでおり，またメタボリックシンドローム対策を一層強化する必要がある。
- 市内各地で健康づくり実践活動が活発に行われているが，地域でのつながりの希薄化などから，地域間で健康づくり推進員の養成数の偏りや意識の違いが見られる。

【重点課題】

地域主体の健康づくり活動，食育，疾病予防対策など健康づくりの推進を図り，市民が自分の健康を自分で守れるようにすること

また，地域医療体制の充実や国民健康保険事業の充実を図り，地域の多様な医療ニーズに対応し，市民が良質な医療サービスを受けられるようにすること

〔環境分析2〕（主なもの）

- 医療サービスに対する市民ニーズが高く，夜間休日救急診療所や病院群輪番制により365日医療が受けられる体制が整備されているが，医療機関や医師の不足等により，救急医療体制の維持が厳しい状況にある。

【重点課題】

医療機能の分化・連携の推進などにより，地域医療体制の充実を図り，地域の多様な医療ニーズに対応すること

〔環境分析3〕（主なもの）

- 診療報酬の引き下げ，自己負担割合の引き上げなど医療制度改革が実施される中で，訪問保健指導対象者と医療機関受診者が年々増加し，保険給付費が増加している。

【重点課題】

国民健康保険財政の健全化などにより，国民健康保険事業の充実を図り，将来にわたって被保険者が良質な医療サービスの提供を十分に受けられるようにすること

2 都市の福祉力に関すること

〔環境分析1〕（主なもの）

- 市において地区行政を積極的に展開し、市民と協働のまちづくりを推進しているなか、ボランティアの登録者数が中核市の中では少ない。
- 市民の地域福祉活動への参加意欲は高いものの、個人情報保護法の施行により、地域の福祉活動が影響を受ける懸念がある。

【重点課題】

地域の社会資源との連携や支援などにより、市民の福祉活動への参画促進を図り、地域における福祉力を向上すること

〔環境分析2〕（主なもの）

- 4拠点（本庁及び平石、雀宮、富屋の各地区センター）において保健と福祉の総合相談窓口を整備し、地域の保健福祉サービスを展開しているが、相談や申請受付が主となっており、更なるサービス向上が求められている。
- 保健福祉に関する相談件数が年々増加している中、福祉サービスが充実していないと感じている市民が、充実していると感じている市民より多い。

【重点課題】

サービスの提供体制の整備などにより、保健・福祉サービスの総合化を図り、市民の福祉ニーズに迅速、かつ、きめ細やかに対応すること

〔環境分析3〕（主なもの）

- 住まい～道路・交通機関～施設へのモビリティ（移動の連続性）を円滑に行うことができるよう「通称：ハートビル法」及び「通称：交通バリアフリー法」等が制定される中で、市民の生活環境のモビリティを考慮した効果的なバリアフリー化が十分なされていない。
- 市民のボランティアへの参加意識は高いものの、ボランティアの養成や広報・啓発活動が効果的に行われていないため、「思いやりの心」の醸成が十分に進んでいない。

【重点課題】

広報啓発活動の推進等による「心のバリアフリーの推進」及び「公共的施設のバリアフリー化」などによる社会基盤の強化を図り、市民の誰もが障壁を感じることなく、安心して暮らせるようにすること

〔環境分析4〕（主なもの）

- 施設サービスを行う基盤整備が進んでいるなか、監査対象施設が多いため1年間ではすべての対象施設に実地指導監査ができず、監査後のフォローが十分でない。
- 全国の人口が初めて減少期を迎えたものの、規制緩和による新規参入事業者の増大や過当競争により、サービス水準が十分でない福祉施設が出てくる恐れがある。

【 重点課題 】

社会福祉法人・施設等への指導監査の充実，福祉施設の適正配置などにより，社会福祉施設の充実を図り，市民が福祉施設において，ニーズに応じた質の高いサービスを利用できるようにすること

〔環境分析5〕（主なもの）

- 地域の民生委員，自治会，福祉協力員等による見守り活動が開始されているなか，自立が見込めないひとり暮らし高齢者や生活困窮者等の増加により，地域における共同体意識の低下や福祉基盤の弱体化が懸念されている。

【 重点課題 】

保健・福祉サービスの充実と質の向上，地域福祉体制の充実などにより，保健・福祉サービスの基盤・支援機能の充実を図り，高齢者・障がい者や生活困窮者が必要な保健・福祉サービスや支援を受け，自立できるようにすること

3 高齢期の生活の充実に関すること

〔環境分析1〕（主なもの）

- 本市で実施している「基本健康診査の受診率」は，年々低下している一方で，本市の死亡率は，国・県の死亡率より低くなっている。
- 現在，本市が行っている「保健・医療サービス」については，市民の満足度が高く，各種サービスの実績についても順調に伸びていることから，市民ニーズに対応した適切なサービスを提供していると言える。

【 重点課題 】

介護予防対策の充実により，健康の維持と自立促進を図り，高齢者が健康で自立した生活を少しでも長く送れるようにすること

〔環境分析2〕（主なもの）

- 「高齢者等の雇用の安定等に関する法律」の一部改正により，シルバー人材センターが一般労働者派遣事業に参入できるようになり，高齢者の就労機会の拡大が期待できている中で，高齢者人口に占める就業率は低下している。

【 重点課題 】

生きがい活動のための環境整備や就労の場の確保などにより，高齢者の生きがいづくりの充実を図り，一人ひとりが尊厳をもち，生涯にわたって，元気に生き生きと生活できるようにすること

〔環境分析3〕（主なもの）

- 「ボランティア活動を今後やってみたい」と考えている高齢者が減少している一方で、ボランティア活動に参加している団体・市民は増加している。
- 介護を受ける場合は、「施設」よりも「自宅」を望む高齢者の割合が多い中で、地域の問題は地域で解決しようとする住民意識が高まっている。

【 重点課題 】

介護サービスの質の向上や地域における提供基盤の整備促進などにより、介護保険事業の充実を図り、高齢者が充実した介護サービスを受けられるようにすること

4 障がいのある人の生活に関すること

〔環境分析1〕（主なもの）

- 障害者自立支援法の施行により、障がい者の就労支援が強化された中で、本市では、障がい者の雇用に対する理解の促進などにより、就労を支援するための取り組みが求められている。
- 障害者自立支援法が施行され、サービス体系の再編等により福祉サービスが多様化する中で、本市では、障がい者からの相談に応じて、適切に社会資源や福祉サービスに結びつけるための体制が求められている。

【 重点課題 】

就労支援の充実や、相談体制の充実などにより、社会活動の促進を図り、障がい者が社会的に自立し、生き生きと生活できるようにすること

〔環境分析2〕（主なもの）

- 障害者自立支援法の施行により、障がい者が円滑に地域での生活へ移行できる体制が求められる中で、本市では、地域での生活を希望する障がい者が、居住の場を得て、サービスを受けながら生活を送れるような取り組みが求められている。
- 障がいやその疑いがある児童の相談・早期発見・早期療育までを行う、子ども発達センターが事業を開始した中で、本市では、総合的で一貫性のある療育を提供していくための、関係機関との連携体制の充実が求められている。

【 重点課題 】

地域生活への移行の促進、居住の場や通所施設の充実、療育体制の充実などにより、障がい者が安心して生活を送れるようにすること

5 児童福祉に関すること

〔環境分析1〕（主なもの）

- 異年齢の交流機会が減少しており、子どもの健全育成が懸念される中で、本市では、「子どもの家」などがバランスよく配置されている。
- 少子化対策として児童健全育成事業の重要性が高まっている中で、人が集まる中心部に健全育成の場が少なく、また子どもが自主的に活動できる場が求められている。

【重点課題】

児童養育環境の充実、児童の自主的・主体的活動の促進、地域での相談体制の充実などにより、児童健全育成環境の充実を図り、児童が健やかに育つことができるようにすること

〔環境分析2〕（主なもの）

- 子育て支援に対する市民ニーズが多様化している中で、本市では、保育園、幼稚園などの保育サービスを提供する施設がバランスよく配置されている。
- 子育てに負担や不安を感じている親が増加している中で、子育てに関する市民ニーズに対応した相談体制が不十分である。

【重点課題】

保育サービスの充実など、子育て支援の充実を図り、すべての子育て家庭が安心して子育てができるようにすること

〔環境分析3〕（主なもの）

- 改正児童福祉法（平成17年）により児童家庭相談体制が見直され、市町村においても、虐待の未然防止・早期発見等への積極的な取り組みが求められる中で、本市では、子どもの人権を尊重する意識が高いとは言えない状況にある。
- 児童虐待の件数が増加している中で、本市では、地域活動や市民活動に参加する人が増えている。

【重点課題】

啓発活動、地域ネットワークの活用、関係機関との連携などにより、子どもへの虐待防止対策の強化を図り、子どもの人権侵害を防止すること

〔環境分析4〕（主なもの）

- 離婚件数が増加傾向にある中で、母子家庭においては、就業経験の不足などの制約から雇用・就業の機会が少ない。

- ひとり親家庭の就業機会が求められる中で、行政の雇用支援体制や地域の生活支援体制が整備されている。

【 重点課題 】

自立支援・就業支援策の充実などにより、ひとり親家庭等への支援を行い、ひとり親家庭等が自立し、安定した生活を営むことができるようにすること

6 日常生活の安心感に関すること

〔環境分析1〕（主なもの）

- 国においては交通安全計画が策定され、交通安全に対する市民意識の高まりと共に、交通安全施設の整備に取り組む人材や資材の確保を始め、市民協働での交通安全教育が推進される中で、高齢者や若年ドライバーによる交通事故が増加傾向にある。

【 重点課題 】

交通安全教育の充実などにより、交通安全意識の向上を図り、市民が交通事故にあわな
い、起こさないという行動をとるようにするとともに、歩道や交通安全施設の整備、放置
自転車対策などにより、道路交通環境の向上を図り、安全で安心して利用できる道路環境
を確保すること

〔環境分析2〕（主なもの）

- 自然災害を始め、大規模事故やテロ、災害に対する行政の迅速かつ的確な対応が求められている中で、市の危機管理体制が十分でない。
- 地域で自主防災会を中心とする防災市民ネットワークを整備するための取り組みが始まりつつある中で、市民の災害に対する関心が薄く、また自主防災会の活動も地域差があり十分ではない。
- 耐震改修に関し市民の関心が高まっている中で、都市基盤の防災化が進んでいない。

【 重点課題 】

災害意識を普及・高揚するとともに地域の災害体制の向上を図る、また、情報伝達体制の
整備、建築物の耐震化、密集市街地の基盤整備などにより、市の危機管理体制の強化を図り、
災害対応能力を高めること

〔環境分析3〕（主なもの）

- 消防力や救急救助体制の強化が求められている中で、施設や装備等のハード面は整備されているが、専任救助隊員などソフト面は不十分である。

- テロなどの新たな危機の発生が懸念される中で、消防応援体制が整備されるとともに、救命の処置の充実が図られている。
- AEDの取扱をはじめ、応急手当に対する市民意識が高まる中で、訓練資機材や救急救命士の配置などが不十分である。

【 重点課題 】

消防力・救急救助体制の強化を図り、迅速、かつ的確な消防活動を行うとともに、救命効果を高めること。

〔環境分析4〕（主なもの）

- 市民の防犯に対する意識が高まってきている中で、パトロール活動など、地域住民による自主的な活動が行われている。
- 地域においてまちづくり推進組織が連合自治会単位に組織されているが、現在防犯活動を行っている市民、団体が個々に活動していることから、効果的かつ継続的な活動を確保する方策が確立されていない。
- 見通しの悪い箇所や「落書き」などの危険箇所について、市民（地域）が主体的に解決するという意識づけが希薄である。

【 重点課題 】

防犯に関する情報の提供や自主的な防犯活動の支援など、地域防犯活動を促進し、市民が自主的な防犯活動に継続的に取り組むようにするとともに、地域の危険箇所を改善することにより、犯罪の起きにくい、起こしにくい環境をつくること

〔環境分析5〕（主なもの）

- 消費者基本法が改正され、リコール制度の強化や消費者の自立のための基盤整備が進められる中で、本市では、条例改正により、自立支援を明文化し、専門知識を有する相談員等を確保している。
- 食品の偽装表示や振り込め詐欺などの新聞報道により、市民の消費生活に対する関心が高まっているが、本市の取組みは、消費生活のトラブルの対応に追われ、被害未然防止については、啓発や情報提供に止まっている。

【 重点課題 】

消費者の自立支援、消費者被害の未然防止・救済などにより、消費生活の向上を図り、市民が安全で安心な消費生活を送れるようにすること

〔環境分析6〕（主なもの）

- NBCテロや大規模災害など従来の公衆衛生分野を横断するような新たな健康危機の発生が懸念されており，公衆衛生の専門職員が複数配置されている保健所を地域の健康危機管理対策の核とする，体制の強化が求められている。

【重点課題】

対応能力の向上，関係機関との連携強化などにより，健康危機管理対策の強化を図り，市民の生命や健康を脅かす健康危機から市民を守ること

〔環境分析7〕（主なもの）

- 消費者の食に対する安全意識の高揚や，食品関連企業における安全性重視，危機管理意識の高まりが見られる中で，感染症の発生や食中毒の多様化・複雑化に対応できる事業者の自主衛生管理の徹底を維持させるため，関係施設への継続的な衛生監視指導が必要である。

【重点課題】

食品衛生指導の充実，情報提供などにより，食品の安全性の向上を図り，安全な食生活を送れるようにすること。

〔環境分析8〕（主なもの）

- レジオネラ症の集団発生，死亡事例が他県で起きている中で，事業者の自主的な衛生管理の徹底を維持させるため，関係施設への継続的な衛生監視指導が必要である。

【重点課題】

生活衛生関係施設の衛生水準の向上や，霊園，斎場の整備などにより，衛生施設の機能等の充実を図り，快適で衛生的な生活を確保すること。